

<b>1. 評価対象事務事業</b>		シート作成日	平成25年7月14日
事業名	救急・救助等活動事業	担当課・係名	消防署・国府分署
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	2
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

**2. 事業の概要**

目的 (何のために)	救急・救助等の災害に出動し適切な救急救命処置及び救助活動に努めるとともに、災害現場で必要とする資機材の点検・整備を実施				
対象 (誰を・何を)	大磯町民				
内容	救急・救助等の出動に職員が2交替24時間体制で対応 災害現場で使用する、資機材の点検・整備 職員の能力向上のため、教育・研修に出向				
根拠法令・条例等	消防法・消防組織法・救急救命士法				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	9,826	5,976	5,823
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	9,826	5,976	5,823
	職員人数 (概算職員数)	人			3.85
	人件費計 (b)	千円			22,607
総事業費 (a)+(b)	千円	9,826	5,976	28,430	
事業費内訳 H 25 年度	需用費：2,192千円    役務費：1,558千円    使用料及び賃借料：630千円 負担金補助及び交付金：1,443千円				

**3. 指標値の推移**

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 総出動件数	件	1,572	1,532	1,550
	②				
活動指標 (活動量)	① 救急出動	件	1,566	1,524	1,543
	② 救助出動	件	6	8	7
成果指標 (達成度等)	① 搬送人員	人	1,494	1,475	1,480
	② 救助人員	人	5	7	7

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 本署・分署ともに高規格救急車を配備し、常時救急救命士が救急活動に従事している。消防署で円滑に事業を遂行している。また事業の性質上、消防署が実施主体となるのは妥当と考える。
	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 本署・分署ともに高規格救急車を配備し、常時救急救命士が救急活動に従事している。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 理由 各隊に救急救命士及び高規格救急車が常備配備され、高度な救急処置が実施されている。
	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他 理由 必要最低限の資機材で活動している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 理由 高度化する救急救命処置及び救助活動を行うため必要資機材の点検・整備は必要である。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		評価理由 増加する救急件数、高度化する救命処置、高まる町民や社会のニーズに対し、救急救命士の研修及び救急資機材等の充実が必要である。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	高度化する救急・救助活動に対応するため計画的に資機材整備を行う。
② 平成26年度に着手する事項	高度救命資機材の整備、複雑多様化する救助活動に対応するための救助資機材の整備。
③ その他（課題、調整事項等）	高度救命資機材等の整備のための予算確保。 限られた人員配置での活動のため教育・研修への出向人員調整が困難な状況下にある。

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

救急・救助現場で必要とする資機材を計画的に更新するとともに、点検・整備を実施する。
---